

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	ページ
62252	会計事務事業	会計事務局	会計事務局	2
62311	財務会計システム保守管理事務	会計事務局	会計事務局	3

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	会計事務局	課等名	会計事務局	担当G	経理担当	連絡先	948-6240
------	-------	-----	-------	-----	------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	会計事務事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	2:委託
62252						
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】	各種計画該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約
政策	地方分権社会を推進する					
施策	効率的な行財政運営の推進					
主な取組	手続きの利便性の向上	根拠法令	地方自治法、地方自治法施行令、地方財政法、松山市財務会計規則等			
取組みの柱	公金支払方法の拡充					
目的・背景	目的:松山市の行財政が適正かつ能率的に運営されることを目的とする。 背景:地方自治法に基づき本市の会計事務を執行する事業である。					
対象・内容	対象:指定金融機関、出納員、会計員等 事業内容:松山市の財務の公正な運営を確保するため、会計管理者の補助機関として会計事務を行っている。 出納担当 現金(歳入歳出外現金を含む)・有価証券の出納・保管・記録、資金計画、出納員・会計員の管理、指定金融機関等との調整 公金取扱事務収納処理業務(委託先:株式会社伊予銀行) 審査担当 支出負担行為の確認、支出命令等の審査 経理担当 決算の調製・物品(使用中の物品を除く)の出納及び保管					

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	会計管理費
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な 経費 (千円) 【R4 決算】	公金取扱事務収納処理業 務委託料		29,567
予算 (千円)	事業費計	40,014	39,556	40,330			金融機関の窓口収納手 数料		2,383
	国費・県費	0	0	0					
	市債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	40,014	39,556	40,330					
決算 (千円)	事業費計	38,564	38,579			主な 取組 内容 【R4】	会計事務についての各種資料の作成・改良 歳計現金運用益の確保 財務会計システムの円滑な運用 公金取扱事務収納処理業務委託 (委託先:株式会社伊予銀行)		
	国費・県費	0	0						
	市債	0	0						
	その他	0	0						
	一般財源	38,564	38,579						
人役	正規職員	15.8	15.8	15.8		特記 事項			
	その他	1.0	1.0	1.0					
	合計	16.8	16.8	16.8					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)
	目指す方向性	単位						
活動 指標	会計事務局通信 の発行		目標	-	-	6	6	
			実績	1	8			
	現状維持	回	達成率	-	-			
			目標					
			実績					
			達成率					
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	安定的な会計事務の執行を達成できたことに加え、庁内向けの各種マニュアルの充実や、「会計事務局通信」の発行などを通して、会計事務に関する職員の理解を促すことができた。						
課題	特に無し			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	引き続き安定的な会計事務の執行に取り組むため。	

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	会計事務局	課等名	会計事務局	担当G	経理担当	連絡先	948-6240
------	-------	-----	-------	-----	------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	財務会計システム保守管理事務	事業 性質	2:その他		事業 区分	7:その他	
62311							
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】	各種 計画 該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	地方分権社会を推進する		—	—			
施策	行政情報の適正運用		—	—			
主な取組	情報システムの適切な管理	根拠 法令					
取組みの柱	情報システムの安定的な運用						
目的・背景	目的:財務会計システムの安定的な稼働を目的とする。 背景:財務会計システムの再構築に伴い、開始した事業である。 令和2年度には、運用コストの削減、災害時のデータ保全及び業務継続などを目的に、クラウド上でのシステム構築に変更した。						
対象・内容	対象:松山市職員、利用団体職員 事業内容:財務会計システムの安定的な稼働・継続的な利用を確保するため、財務会計システム用機器及びソフトウェアの賃借・保守を行っている。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	会計管理費
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な 経費 (千円) 【R4 決算】	運用機器及びソフトウェアの賃借料		6,508
予算 (千円)	事業費計	9,748	9,721	9,721			運用機器及びソフトウェアの通信料		3,213
	国費・県費								
	市債								
	その他	74	74	73					
	一般財源	9,674	9,647	9,648					
決算 (千円)	事業費計	9,720	9,720			主な 取組 内容 【R4】	財務会計システム用機器及びソフトウェアの賃借・保守業務		
	国費・県費								
	市債								
	その他	73	73						
	一般財源	9,647	9,647						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記 事項			
	その他								
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	システムの安定稼働		目標	365	365	366	365	導入から複数年が経過し、安定的に稼働できているため。	
			実績	365	365				
	現状維持	日	達成率	100.0%	100.0%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	財務会計システムの安定的な稼働により、迅速かつ正確な会計事務が行えたため。							
課題	特に無し					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き、財務会計システムの安定的な稼働を目指すため。